

製造

21億円かけ久留米市に新工場

東京都の日本生物製剤

医療用医薬品製造販売の(株)日本生物製剤(東京都渋谷区、郭孫雪娥社長)は、約21億円かけ9月から久留米市の藤光産業団地に新工場を建設する。完成は2014年7月。

工場名は「(株)日本生物製剤藤光工場」。同市野中町の久留米工場、同市合川町の研究所を新工場に集約し、機能の効率化と生産能力の拡充を図る。場所はJR荒木駅そば、国道209号の南野伏間交差点近く。敷地面積は約1万3200㎡、2階建てで延べ床面積は約4000㎡。1階は医療用医薬品、化粧品、健康食品の製造で、2階は品質管理室、研究所、事務室や会議室、食堂など。化粧品、健康食品の生産並びに研究所の移転は2014年7月、医療用医薬品の生産は16年春を予定している。

同所に新工場を建設する理由として「国内基盤の再強化に当たり、当社の沿革並びにバイオ

パレー構想を推進している福岡県と、その中核都市である久留米市による行政の支援が整備されているため」と話している。

新工場では、医療用医薬品が現在の約1・9倍の年間1500万アンプル、輸出用の医療用医薬品は約1・2倍の年間1600kg、化粧品、健康食品は約8・3倍の年間20万箱(1箱1000カプセル詰)を生産する計画。化粧品、健康食品については、市場の拡大により現工場以外に外注していたものを自社製造するため大幅な増産となる。現在、久留米工場には瀬川辰彦工場長以下51人の従業員が勤務し、新工場稼働後は約70人に増員する。

同社は1970年10月設立、資本金は4500万円、従業員は104人。12年9月期見込は売上高約20億5000万円。ヒトプラセンタを原料とした肝機能改善剤「ラエンネック」などを製造、販売し、韓国にも工

場を持つ。

伊・キャレル社と合併会社

柴田熔接工作所

冷熱機製造の(有)柴田熔接工作所(福岡市南区塩原3丁目、柴田勝紀社長)は1月17日、イタリアの冷熱機、部品製造CAREL社(パドバ市、LUGIMALINI社長)と合併会社を設立した。

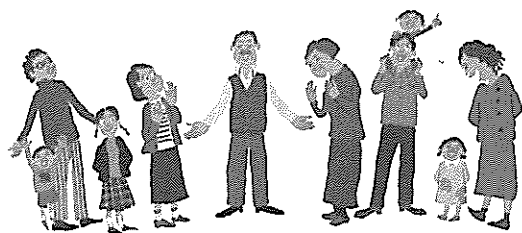
新会社の名称は「CAREL Japan(キャレル ジャパン)(株)」。今まで、柴田熔接工作所が行っていたキャレル社製品の日本国内販売業務をCAREL Japanに移管する。社長には柴田社長が就任。キャレル社からはマルティノ・マフリンCEOが取締役に就任する。資本金は1000万円、出資比率は柴田熔接工作所が51%、キャレル社が49%。本社事務所は福岡市南区塩原3丁目の柴田熔接工作所ショールーム内に設置する。

柴田社長は「海外企業との合併は合意に至るまで時間がかかった。今後はキャレル社製品の日本総販売代理店として国内



5th
おかげさまで、5周年

あなたのいちばんに。



FFG ふくおかフィナンシャルグループ

福岡銀行